

新たな百年の飛躍のための礎を築く

九州大学は、百周年を迎えた2011年、これからの百年の礎を築くべく二つの大きな改革に取り組みました。基幹教育院の創設と大学改革活性化制度のスタートです。

基幹教育院を創設

九州大学では、様々な分野において広く全世界で活躍し、指導的な役割を果たす人材の輩出を教育の目標に掲げ、全学一体となって教育に取り組んでいます。多様な課題を抱えた国内外の社会からの大学教育に対する期待や要請に応えつつ、国際社会において真にリーダーとして活躍できる人材を育成するためには、これまで以上に体系的で幅広い質の高い教育を充実させていかなければなりません。そのためにも、学士課程教育から大学院教育に至る一貫した教育システムの再構築に取り組むこととし、平成23年10月「基幹教育院」を創設しました。

「基幹教育」は、学生に対し、様々な選択肢と出会う学びの機会を創り、幅広い知識や視野を育成すると同時に、生涯にわたって自律的に学び続けるアクティブ・ラーナーとしての「学び方を学ぶ」「考え方を学ぶ」ための姿勢と態度（基幹）を育成し、

同時に自らの専門を高めていくことにつなげることを大きな目標としています。

基幹教育の中核を担う組織が基幹教育院です。基幹教育院の教員は、各学部と連携しながら基幹教育のマネジメントを行うほか、基幹教育での講義や実験、演習を担当するとともに、それぞれの学問分野での研究を行い、学府教育にも携わります。また基幹教育院は、旧教養部とは異なり、九州大学の全ての組織の教員の参画（全学出動体制）によって営まれます。このことで、大学入学の早い段階から学生は、幅広い知識や多様な経験やユニークな考えを持つ多くの教員に接することができます。基幹教育院は、これからスタッフの充実や新たなカリキュラムの構築に取り組み、平成26年度入学の学生から、新たなカリキュラムによる学びが始まります。

基幹教育院の設置

九州大学教育憲章（平成12年制定）

- ・広く全世界で活躍し、指導的な役割を果たす人材の輩出
- ・人間性、社会性、国際性及び専門性を重視し、全学一体となって教育に取り組む

【教育改革の課題】

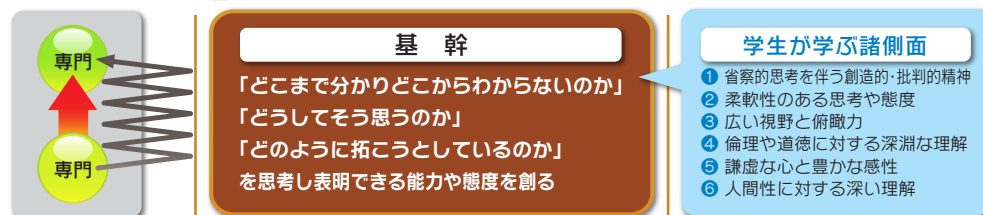
グローバル化が進む国際社会において、真にリーダーとして活躍できる人材を育成するには、体系的で幅広い質の高い教育を実現し、全学教育から専門教育へ、専門教育から大学院教育に至る一貫した教育システムの再構築が不可欠

平成22年度～

第2期中期計画

深淵で幅広い教養教育から専門教育に繋がる充実した一貫性のある学士課程教育を実施するために、全学的な体制を整備充実する

「基幹教育」の構築



日常性の文脈に関連づけながら多様な分野の基礎知識を多様な教授形態で（幅広い知識・考え方）

生涯にわたって自律的に学び続ける「アクティブ・ラーナー」としての「学び方を学ぶ」「考え方を学ぶ」ための姿勢と態度（基幹）を育成する営み